

総務省

オンラインカジノに係るアクセス抑止の在り方に関する検討会（第3回）

## オンラインカジノのアクセス抑止に関する フランス・イギリスの動向

株式会社野村総合研究所

コンサルティング事業本部

ICT・コンテンツ産業コンサルティング部

2025年5月14日

**NRI**

Envision the value,  
Empower the change



1. フランスの動向に関する参考資料
2. イギリスの動向に関する参考資料

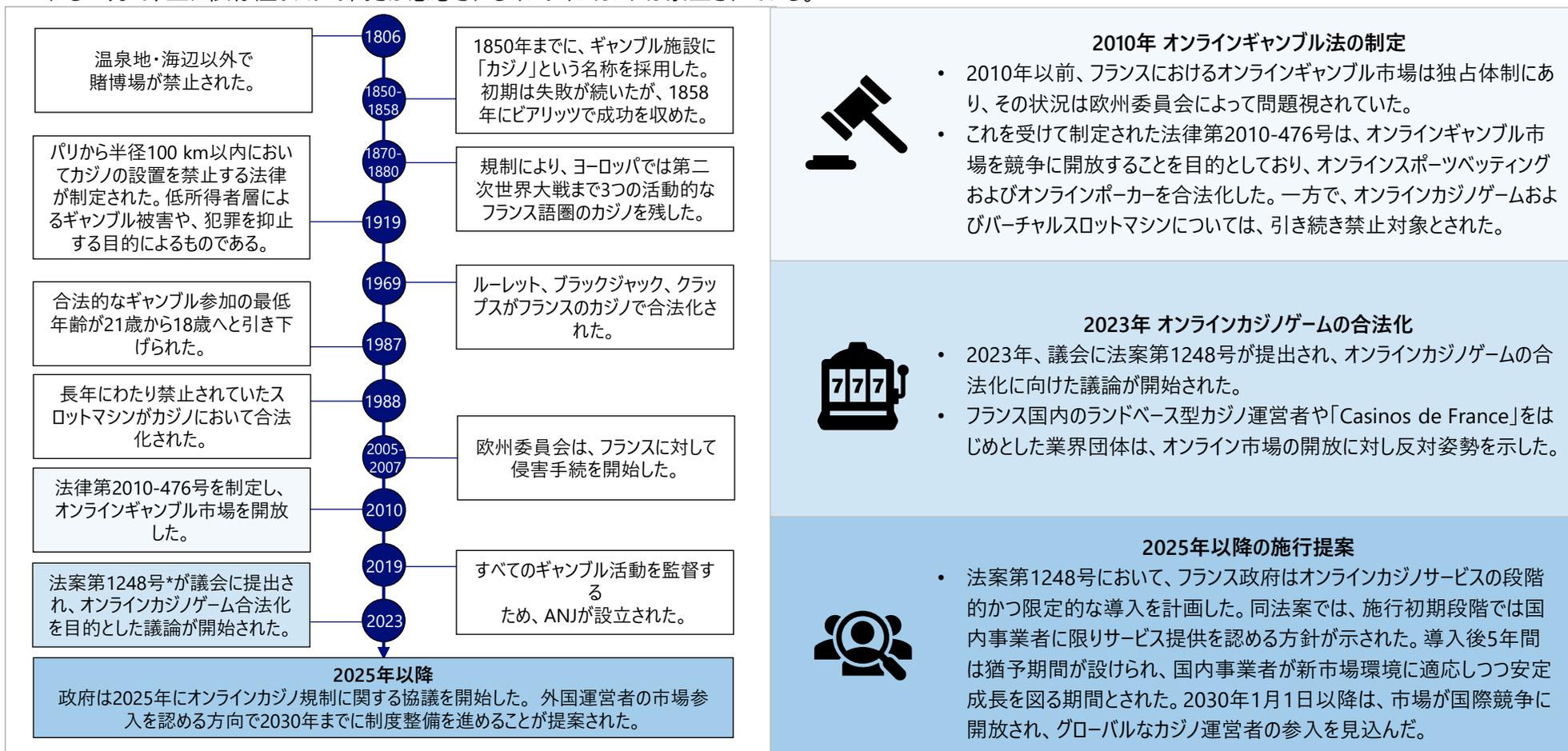
## フランスの動向に関する参考資料

## (参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (フランス) - オンラインギャンブル規制の詳しい歴史

# 国立賭博局 (ANJ) の設立は、オンラインカジノ産業の育成と技術の進歩への対応を目的とし、長年旧態依然としていたフランスのギャンブル部門の近代化を促進した

### フランスのギャンブル部門における主な進展

- フランスではオンライン賭博の一部が合法とされている。運に依存するのではなく、プレイヤーの技能に基づくゲームと見なされるオンラインポーカーは例外的に認可が与えられる一方で、主に依存症リスクの高さが懸念されるオンラインカジノは禁止されている。



\*2025年4月現在、法案第1248号について、取り下げ、否決、または本会議での審議予定に関する公的な記録は確認できていない。

## (参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (フランス) - オンラインギャンブルの定義

# 法律第2010-476号の分類に基づくギャンブルの類型定義は以下の通り

### ギャンブルの類型

カテゴリ	出所	定義
オンライン賭博および賭け行為(競馬やスポーツイベントへの賭け等) (Online Gambling and Betting)	第2010-476号 第2章第10条 (1)、第13条 (1)	オンラインギャンブル (Online gambling) および賭け行為 (betting) とは、オンラインの公共通信サービスを通じてのみ行われるギャンブルおよび賭け行為を意味する。競馬またはスポーツイベントに関するオンラインベッティングにおいては、プレーヤーが認可されたオペレーターのサイトに直接接続し、そのプレーヤーの意思により、デジタルデータの転送を通じてオンラインの公共通信サービスにのみ記録される賭けの受付および管理のみが許可される。
オンライン宝くじゲーム* (Online Lottery Games)	第2010-476号 第4章第17条 (1) 第10章第34条 (6)	第21条に定める承認を申請する会社は、オンライン宝くじゲームの運営に関して、法律第2019-486号 (2019年5月22日) 第137条に定める法人に対し、2019-486 (2019年5月22日) 第137条に定める法人は、そのサイトへのアクセスおよび登録の条件を、すべてのプレーヤーに対して明示し、各新規プレーヤーの身分確認、年齢、住所、および資産が移転される支払い口座の識別を可能にする手段を定めるものとする。当局は、独占的権利を有する事業者の認可されたゲームの規則を承認する。これらの規則は、当局のウェブサイトおよび事業者のウェブサイトに掲載され、事業者により、宝くじ、スポーツ賭博または競馬ゲームへの登録時にプレーヤーに提供される。
オンラインカジノ* (Online Casinos)	第三者サイト 「Reynaud Avocat」	オンラインでのカジノゲーム (スロットマシンやルーレットなど) の提供は、フランスにおけるオンラインカジノの合法性に関する「Chair Regulation des jeux N°3 / 2021」 (C. FREZET) において禁止されている。ただし、行政の事前許可を得た物理的なカジノにおいては合法である (CSI 第L321-1条からL321-7条)。
オンラインポーカーゲーム* (Online Poker Games)	第三者サイト 「Reynaud Avocat」	フランスでは、リアルマネーポーカーゲームの開催は禁止されている。ただし、カジノおよびパリの7つのギャンブルクラブ (いずれもオフラインで運営) およびANJからライセンスを受けたインターネットギャンブル事業者を通じて行う場合は例外である。

\*オンライン宝くじゲーム、オンラインカジノ、オンラインポーカーゲームのいずれについても、法律第2010-476号および国内治安法に適切な定義が記載されていなかった。

出所：Légifrance (フランス政府によるフランス法公式ウェブサイト)、Reynaud Avocat等

## (参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (フランス) - オンラインギャンブル規制の内容

# フランスの法律はギャンブルを厳格に規制しており、プレイヤー保護措置の導入や、クレジット (金銭の貸し借り) による賭けの提供禁止などが制度化されている

## 国内治安法 (Code de la sécurité intérieure) に基づくギャンブルに関連する規制

### 第2章：賭博および賭博施設、カジノ

#### 第L320-9-1条 (2019年10月2日付第2019-1015号命令 - 第2条)

- I. 行政当局は、秩序、静穏またはゲームの通常の進行を乱すおそれのある行為を行う者に対し、賭博禁止措置を課することができる。  
行政上の賭博禁止措置は、偶然の要素を含むゲーム (games of chance) および以下の賭博 (gambling) に適用される：
  - 1° カジノにおいて提供される賭博；
  - 2° 2010年5月12日法律第2010-476号 (オンライン賭博および賭博部門の競争開放と規制に関する法律) に基づき認可されたオンライン賭博サイト；
  - 3° 2019年5月22日法律第2019-486号「企業の成長と変革に関する法律」第137条に定める独占的権利を有する唯一の法人が運営するオンラインギャンブルサイト；
  - 4° 2019年5月22日法律第2019-486号「企業の成長と変革に関する法律」第L.320-9条第1項に定める人間を介さないギャンブル端末；
  - 5° 第L.320-9条第2項に定める登録ポスト期間は最長5年間有効とする。
- II. 何人も、管轄行政当局に対し、ギャンブル (games of chance and gambling) への参加を防止するための措置を講じることができる。  
ギャンブルの自主的禁止は、I.の1°から4°までに記載されている賭博およびギャンブル (games of chance and gambling) に適用される。  
期間は3年間とし、黙示的に更新される。

#### 第L320-17条 (制定 2019年10月2日政令第2019-1015号 - 第2条)

クレジットによる賭博は禁止される。

賭博またはギャンブルの事業者は、その役員、取締役、従業員、またはこれらの事業者が賭博の記録装置の運営を許可した者に対し、プレイヤーへの金銭の貸付を承諾すること、またはプレイヤー同士が相互に貸付を行うことを可能にする直接的または間接的な仕組みを設立することを禁止する。

オンラインギャンブルまたは賭博のサービスを提供する事業者が運営するオンライン公共通信サービスには、プレイヤーへの貸付を許可する企業またはプレイヤー間の貸付を可能にする企業を宣伝する広告、またはそのような貸付サービスを提供するウェブサイトへのリンクを含めることはできない。

#### 第L324-5条 (2019年10月2日付政令第2019-1015号により改正 - 第10条)

賭博事業者は、次のいずれかに該当する場合、10,000ユーロの罰金に処する。

- 1° 賭博禁止措置が適用されている者に、自らが提供するオンライン賭博活動に参加させること；
- 2° 賭博禁止措置が適用されている者に対して商業的な通信を送付すること。

## (参考) ブロッキング実施状況 (フランス) - ブロッキングの採用理由

# フランスが支払いブロッキングよりもサイトブロッキングを優先した理由は、国内での執行可能性が高く、より迅速に違法サイトへのアクセスを遮断する効果が見込まれるためである

### サイトブロッキングは迅速かつ効果的な措置として位置付けられる

ANJによれば、過去10年間に法的手続によって削除されたサイト数を、行政手続によるブロッキングが1年で上回ったとされており、これが現在のフランスにおける主要な執行戦略の柱となっている。

### 支払ブロッキングの導入は検討段階にある

ANJは経済・財務省と連携し、金融取引の遮断を模索しているものの、現在も構想段階にあり、法的・管轄的・運用的制約が即時導入の障壁となっていると見られる。

### 即応性と可視性を重視した執行手段を優先

ANJは、違法サイトの削除を可能とするプラットフォームとの協力体制、検察との連携による法的措置、そして消費者向けの注意喚起キャンペーンなど、即時性と可視性に優れた手段を優先している。

The current context indeed calls for a more restrictive response than previously. It is no longer "only" a matter of supporting market growth by de facto witnessing a correlative increase in excessive gamblers, but of reducing the absolute value of the excessive gambler population, strengthening the protection of vulnerable groups (young people in particular), and truly preventing underage gambling. We are therefore expecting a change of model.

Naturally, this pivot will take some time and we will monitor its implementation over the next three years. to come. We are also aware of the effort this will represent for operators.

But we are determined to act in this direction. One of the consequences of this direction is to lead to a **strengthening of our control policy**. Unlike the first period, which favored a compliance support approach, we will strengthen control operations in 2024, particularly in the area of excessive gambling and operators' business practices.

Furthermore, this ambitious policy to protect minors and excessive gambling must **apply to all players and all gambling sales channels**. In this regard, we have initiated discussions with the two monopolies on the development of identified gambling at points of sale with the aim of better identifying excessive gamblers in physical networks.

We also expect the public authorities to continue and expand their efforts to disseminate large-scale awareness campaigns, which the ANJ's resources do not allow.

"The ambitious objective of our action plan will only be achieved if all stakeholders join forces with the regulator to make progress: gaming operators, public authorities, institutions, associations, etc."

Naturally, player protection also requires a **fierce fight against illegal content**. This has already been one of our priorities in previous years. **Administrative blocking has allowed us to block more sites in one year than in 10 years of legal regulation**. Our policy of cooperation with platforms and with the North American Regulators Network (NAGRA) has enabled us to achieve tangible results.

That being said, much remains to be done and we must redouble our efforts on this issue. According to a study carried out in 2023 for the ANJ, illegal supply represents between 5 and 10% of the legal market. This is why we have launched an ambitious action plan to reduce this illegal supply which affects the market: development of a "general public" prevention campaign on the dangers of illegal supply, cooperation with the public prosecutor's office to initiate legal proceedings on the most important cases, **consideration of the possibility of implementing with the Ministry of Finance a systematic blocking of financial flows, development of existing partnerships with platforms to systematically delist these sites**.

ANJ's Annual Report 2023 (Page 6)

## (参考) ブロッキング実施状況 (フランス) - 実際に生じた懸念

# 違法ギャンブルサイトのブロッキングをめぐるっては、ISPに対するブロック命令の適否が争点となり、検閲に関する懸念が浮上した例がある

### ケース1：ISPによるサイトブロッキング命令とその波紋

フランスの裁判所は、ジブラルタルを拠点とし、フランス国内で営業許可を取得していないギャンブルサイトに対し、アクセス遮断を実施するようISPに命じた。2010年、ARJELは、イギリスを拠点とするStanJames.comに対し、フランス居住者を対象としたすべての賭博サービスの提供停止を求める初の差し止め通知（cease and desist letter）を发出している。

⇒ISPは、ホスティング事業者ではなくISPに対してブロックを要求するのは、論理的にも技術的にも適切でないと主張している

- フランス通信連盟（French telecom's federation）の会長Yves LeMouël氏は、裁判所はISPではなくサイト運営者とそのホスティング事業者に注目すべきだと語った。「サイトのブロッキングは常に非常に困難だ」とも指摘した。

- LeMouël氏は、裁判所がISPに措置を課したのは、ジブラルタルを拠点とする事業者やイギリスのホスティング事業者に対して直接措置を講じるより簡便だったためだと説明している。

⇒ISPは、ユーザーが他の手段を講じていないことを確認するためにメッセージを検査する権限はないと主張している

- ニュース記事によると、裁判所の判決はISPに対し、ユーザーがブロッキング措置を回避していないことを確認するため、特定の通信内容を検査する義務を課した。

- 「スクリーニングは誤った解決策であり、慣例化する危険がある」とLeMouël氏は語った。

⇒圧力団体は、この判決は不公平であり、フランスが自国のギャンブル企業を保護し、消費者が多様な選択肢を持つことを妨げていると主張している

- 規制緩和を訴える圧力団体Right2Bet（StanleyやBetFairなどの事業者が支援）は、この判決は不当であり、フランスの消費者が自由なギャンブル市場を享受できないことへの失望を強めるものだと言った。

- 「現代社会において、先進国であるフランスがインターネット検閲に踏み切るのには理解しがたく、ARJELや他の規制機関がFDJやPMUといった地元プロバイダーを保護しようとする姿勢こそが、こうした時代遅れの措置を後押ししている」としている。

### ケース2：違法フランス賭博サイトへのブロッキング措置が「機能していない」

ユーロ2024（サッカー欧州選手権）の結果は、ライセンス取得事業者賭博取引量が事前予測を大幅に下回った。ANJは同大会に10億ユーロが賭けられると予測していたが、フランスオンラインゲーム協会（AFJEL）によれば、その半分であった。AFJELの会長は、現行のウェブサイトブロック措置では、違法市場の拡大抑制には不十分であると批判した。

指摘された懸念点	説明
ブロッキング措置の実効性への疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ AFJELは、ユーロ2024においてライセンス取得事業者の賭博取引量が低迷した主因として、国内における違法賭博活動の急増を指摘した。同協会によれば、ユーロ2024期間中、賭け手が魅力的なオッズを提供する違法サイトに流れた結果、ライセンス事業者の業績は予想外に低調であった。</li> <li>■ AFJELは、無許可事業者が「完全な無罪放免の状態」で活動していると警告し、現行のウェブサイトブロック措置では、違法市場の拡大抑制には不十分であると批判した。</li> </ul>
ブロッキング後のアクセスの容易さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際、フランスでは違法サイトのブロッキング命令が出されたにもかかわらず、回避手段が広く利用可能である。たとえば、StanJames.comに対する仮処分命令後も、フランスのインターネットユーザーは同サイトへのアクセスが可能であることが実験で示された。</li> <li>■ また、2008年に裁判所命令によりISPによるブロッキングが命じられた反ユダヤ主義・修正主義サイト「Aaargh」も、現在に至るまでフランス国内からのアクセスが可能な状態にある。</li> </ul>

# イギリスの動向に関する参考資料

(参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (イギリス) - ギャンブルの定義

参考) イギリス2005年賭博法は、賭博 (ギャンブル) および遠隔賭博の定義を明記している。

- イギリスでは、2007年に施行された2005年賭博法に基づき、賭博を定義。
- 同法は、国営の宝くじとスプレッド・ベッティングを除くすべてのギャンブル形態に対し、統一的な規制の枠組みを提供する主要な法律である。

ギャンブルの定義

法律で定義されている

		賭博		
		賭博 (gambling)	遠隔賭博 (remote gambling)	非遠隔賭博 (non-remote gambling)
出所		イギリス2005年賭博法>第1部主要概念の解釈>主要概念>第3条	イギリス2005年賭博法>第1部主要概念の解釈>主要概念>第4条	イギリス2005年賭博法には明記されていないが、賭博委員会は「用語の定義」で定義している。
定義		<p>以下を賭博 (gambling) として規定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲーム行為 (gaming)</li> <li>• 賭け行為 (betting)</li> <li>• 宝くじ (lottery)</li> </ul>	<p>以下のコミュニケーション手段を利用した賭博を遠隔賭博として規定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネット、</li> <li>• 電話、</li> <li>• テレビ、</li> <li>• ラジオ、</li> <li>• コミュニケーションを容易にする電子技術またはその他の技術。</li> </ul>	<p>非遠隔賭博 (Non-Remote Gambling) とは、ギャンブル施設内で行われ、遠隔通信を介さないものを意味する。</p>

(参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (イギリス) - ギャンブルの種類

参考) 2005年賭博法および賭博委員会に基づくギャンブルの種類定義は以下の通り

ギャンブルの種類 (1/4)

カテゴリ		出所	タイプ	定義
賭け行為 Betting	賭け行為 Betting	2005年 イギリス賭博法 (GA2005) 第9条	一般	賭け行為とは、(a) レース、競争、その他のイベントまたはプロセスの結果、(b) 何かが発生する可能性、または発生しない可能性、または (c) 何かが真実であるかどうかに関する賭けを行うこと、または受け入れることである。賭博委員会の規制の目的上、「賭け Bet」には、金融サービスおよび市場法2000のセクション22の意味における規制された活動である賭けは含まれない。
	賭け Betting	イギリス 賭博委員会 (UKGC)	遠隔	賭け行為 (遠隔) とは、インターネット、電話、テレビ、ラジオ、またはその他の通信を容易にする電子的またはその他の技術を使用して、遠隔通信を使用して参加する賭けのことである。
	賭け Betting		非遠隔	賭け行為 (非遠隔) とは、コースまたはコース外 (例えば賭け屋で) で行われる賭けのことである。
	ナンバーズ Numbers		一般	ナンバーズとは、定率オッズ (fixed odds) で行う宝くじ形式のゲームに対する賭けのことである。
	オフコース Off-course		一般	オフコースとは、競馬場やトラック (例えば賭け屋で) の外で行われる賭けのことである。
	オンコース On-course		一般	オンコースとは、競馬場やトラック内で行われる賭けのことである。
	プール ベッティング Pool betting		一般	プールベッティング (Pool betting) は一般的に、固定オッズではないあらゆる形態の賭けとみなされている。固定オッズの賭けとは異なり、賭け手は賭けを行う時点で、潜在的な配当額を事前に知ることができない場合がある。プールベッティングでは、賭け金がプールに集められ、その一部が勝者に割り当てられる。法的には、以下の条件を満たす賭けとして定義されている。(a) 配当金の全部または一部が、賭けをした者によって支払ったまたは支払うことに同意した賭け金の合計を参照して決定されること、(b) 勝者の間で分配されること、または (c) 配当金が金銭以外のものとなる可能性があるということ。イギリスのプールベッティングのほとんどは、馬、グレイハウンド、またはサッカーを対象としている。

\*遠隔賭博に関する用語を青色で強調

出所：イギリス賭博委員会 (Gambling Commission) 公式サイト等

(参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (イギリス) - ギャンブルの種類

参考) 2005年賭博法および賭博委員会に基づくギャンブルの種類定義は以下の通り

ギャンブルの種類 (2/4)

カテゴリ		出所	タイプ	定義
宝くじ Lottery	宝くじ Lottery	GA2005 第14条	一般	宝くじとは、(a)参加者がその仕組みに参加するために金銭などを支払う必要があり、(b)仕組みの過程で、特定のグループの1人以上に1つ以上の賞品が与えられ、(c)賞品の配分が、完全に運（偶然）に依存する方法によって行われる。複雑な宝くじでは、賞品の配分が一連の手続によって行われ、それらの最初の賞品は完全に偶然に依存する。
	ビンゴ Bingo	GA2005 第353条	一般	ビンゴとは、名称のいかんを問わず、あらゆる形式のビンゴゲームを指す。一般的には、プレイヤーがランダムに描かれた数字を印刷または電子的に生成された数字のカードと照合する、運に任せるゲームである。
	ビンゴ Bingo	UKGC	遠隔	ビンゴ (遠隔) とは、インターネット、電話、テレビ、ラジオ、またはその他の通信を容易にする電子的またはその他の技術を使用して、遠隔通信を使用して参加するビンゴまたはビンゴ形式のゲームである。
	ビンゴ Bingo		非遠隔	ビンゴ (非遠隔) とは、遠隔通信を使用せずに、許可された施設(例えばビンゴホール)で行われるビンゴゲームである。
	ビンゴゲーム Bingo Games		遠隔	ビンゴゲーム (遠隔) とは、インターネット、電話、テレビ、ラジオ、その他の通信を容易にする電子技術などを使用して、遠隔通信を使用して参加するビンゴまたはビンゴ形式のゲームである。
	ビンゴゲーム Bingo Games		非遠隔	ビンゴゲーム (非遠隔) とは、メインステージのビンゴ、機械化されたビンゴ、およびプライズビンゴで、許可された施設(例えばビンゴホール)で実行され、リモート通信を経由しないものを指す。
	プライズビンゴ Prize bingo		一般	プライズビンゴは、設定された賞品または賞品のために行われるビンゴゲームで、プレイ人数やゲームのために支払われた金額、またはゲームによって調達された金額を参照することはない。業界統計では、プライズビンゴはリモート以外のビンゴゲームのみを指す。
	メインステージ ビンゴ Main stage bingo		一般	メインステージビンゴは、発信者がランダムに選択された番号を呼び出すビンゴゲームである。メインステージのビンゴは「リンク方式」で行うこともできる。1つの施設の発信者が番号を呼び出し、その声がリンクに参加している複数の施設に中継される。業界統計では、メインステージのビンゴは非遠隔型のビンゴゲームのみを指す。

## (参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (イギリス) - ギャンブルの種類

# 参考) 2005年賭博法および賭博委員会に基づくギャンブルの種類定義は以下の通り

### ギャンブルの種類 (3/4)

カテゴリ		出所	タイプ	定義
宝くじ Lottery	機械式ビンゴ Mechanised bingo	UKGC	一般	機械式ビンゴ (Mechanised bingo) とは、機械化された装置によって番号の選択と呼び出しが行われるビンゴゲームを指す。機械式ビンゴは「リンク方式」で行うこともあり、異なる施設のプレーヤーが同じゲームをプレイする。業界統計では、機械式ビンゴは非遠隔のビンゴゲームのみを指す。
	国営宝くじ National Lottery	NL1993 第1条	一般	国営宝くじ (The National Lottery) とは、国民宝くじの一部を構成するすべての宝くじを指す。宝くじは、宝くじを運営することを許可された者が、その者と宝くじの主催者または主催候補者との間で締結された合意に従って、宝くじを実施または実施することを提案した場合に、国営宝くじとみなされる。宝くじの実施には、その主催者または主催者候補に付与されたライセンスによって承認されなければならない。
ゲーム 行為 Gaming	ゲーミング Gaming	GA2005 第6条	一般	ゲーミングとは、賞品を賭けて運を競うゲームである。これには、運の要素とスキルの要素の両方が含まれるゲーム、卓越したスキルによって排除できる運の要素が含まれるゲーム、および運の要素が含まれると表現されるがスポーツは含まれないゲームが含まれる。
	カジノ Casino	GA2005 第7条	一般	カジノとは、人々が1つ以上のカジノゲームに参加する機会を与えられる仕組みのことである。
	カジノ Casino	UKGC	遠隔	カジノ (遠隔) とは、インターネット、電話、テレビ、ラジオ、またはその他の通信を容易にするための電子的またはその他の技術を使用して、遠隔通信を使用して参加するカジノゲームを指す。
	カジノ Casino		非遠隔	カジノ (非遠隔) とは、遠隔通信を使用せずに、賭博場(たとえば、カジノ)で行われるカジノゲームを指す。
	カジノゲーム Casino Games	GA2005 第7条	一般	カジノゲームはチャンスゲームであり、チャンスゲームとは異なる。
	電子ゲーム Electronic Gaming	UKGC	一般	電子ゲームとは、複数のプレーヤーが電子的手段を介して同じカジノゲーム (通常はルーレット) に参加できるようにする、リモートではないカジノギャンブルのための施設を指す。ディーラーは別のテーブルに配置されている。産業統計では、電子ゲームのテーブル番号はテーブルの数ではなく、プレーヤーのポジションの数を指す。
カードゲーム Card Game	全般		産業統計における「カードゲーム」とは、遠隔地のカジノで行われるカジノカードゲーム形式のゲームを指す。2017年4月以降、この用語は使用されなくなった。	

(参考) オンラインカジノに関する規制の概要 (イギリス) - ギャンブルの種類

参考) 2005年賭博法および賭博委員会に基づくギャンブルの種類定義は以下の通り

ギャンブルの種類 (4/4)

カテゴリ		出所	タイプ	定義
ゲーム 行為 Gaming	ブラックジャック Blackjack	UKGC	一般	ブラックジャックは、プレイヤーが額面金額の合計が21以下のカードを獲得しようとするギャンブルカードゲームである。
	ルーレット Roulette		一般	産業統計内のルーレットは、リモートカジノでプレイされるカジノルーレットスタイルのゲームを指す。リモートカジノ以外のルーレットについては、「アメリカンルーレット」を参照。
	スロット Slots		一般	リール式のカジノゲーム (従来のリール式ではないゲームを含む)。
	プントバンコ Punto banco		一般	プントバンコ (Punto banco) は、プレイヤー同士が対戦するのではなく、銀行と対戦するギャンブルカードゲームである。9点を獲得するか、9点に近づけることが目的である。一般的にはカジノでプレイされる。

(参考) ブロッキング実施状況 (イギリス) - 犯罪・警察法案

# 参考) 現在審議中の犯罪・警察法案は、無許可ギャンブルを含む重大犯罪に用いられるIPアドレスやドメイン名の停止を可能にする規定を盛り込んでいる (1/6)

## 犯罪・警察法案 (Crime and Policing Bill) 付則12\*

サブパート	出所	法律参照テキスト
IPアドレス停止命令の申請	付則12 セクション92 1 (1)(2) (3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 担当官は裁判官に対して、IPアドレス停止命令 (<i>suspension orders</i>) の申請をすることができる。</li> <li>2) IPアドレス停止命令 (<i>suspension orders</i>) とは、特定のIPアドレスプロバイダに対し、特定のIPアドレスへのアクセスを一定期間防止するよう求める命令である。</li> <li>3) 期間は、最長12ヶ月を超えてはならない。</li> </ol>
IPアドレス停止命令を出すための条件	付則12 セクション92 2 (1) (2) (3) (c) (4) (5)	<p>裁判官は、申請に関するIPアドレスについて、条件1~4が満たされていると合理的な判断ができる理由がある場合、IPアドレスの停止命令 (<i>suspension orders</i>) の申請を認めることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 条件1は、IPアドレスが重大な犯罪の目的で使用されていること。</li> <li>2) 条件2は、以下に該当すること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>c) IPアドレスが、ライセンスのないギャンブルに関連する重大な犯罪の目的で使用されていること。</li> </ol> </li> <li>3) 条件3は、重大な犯罪で使用されるのを防ぐために、当該IPアドレスへのアクセスを防止することが必要かつ適切であること。</li> <li>4) 条件4は、以下のいずれかに該当すること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a) IPアドレスの停止命令が出されない限り、IPアドレスへのアクセスを防止することができないこと。</li> <li>b) IPアドレス停止命令以外の方法でアクセスを防止した場合、重大な犯罪の防止、制限、または妨害に深刻な障害をきたすこと。</li> </ol> </li> </ol>

\*犯罪・警察法案Iの法的参照テキストは網羅されておらず、ライセンスのないギャンブルに関連するセクションのみを含む。

(参考) ブロッキング実施状況 (イギリス) - 犯罪・警察法案

# 参考) 現在審議中の犯罪・警察法案は、無許可ギャンブルを含む重大犯罪に用いられるIPアドレスやドメイン名の停止を可能にする規定を盛り込んでいる (2/6)

## 犯罪・警察法案 (Crime and Policing Bill) 付則12

サブパート	出所	法律参照テキスト
ドメイン名停止命令の申請	付則12 セクション92 3 (1) (2)	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 担当官は、裁判官に対してドメイン名停止命令 (<i>suspension orders</i>) の申請をすることができる。</li><li>2) ドメイン名停止命令 (<i>suspension orders</i>) とは、以下のいずれかに対して命じるものである。<ol style="list-style-type: none"><li>a) 特定のインターネットドメイン登録期間、または</li><li>b) 特定のインターネットドメイン登録期間の登録事業者は、指定されたインターネットドメイン名へのアクセスを、指定された期間、防止することができる。</li></ol></li></ol>
ドメイン名停止命令を行うための条件	付則12 セクション92 4 (1) (2) (3) (c) (4) (5)	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 裁判官は、申請に関連するインターネットドメイン名について、条件1~4が満たされていると合理的な判断ができる理由がある場合、ドメイン名停止命令 (<i>suspension orders</i>) の申請を認めることができる。</li><li>2) 条件1は、インターネットドメイン名が重大な犯罪の目的で使用されている、または使用される予定であること。</li><li>3) 条件2は、 ※(a)(b)(d)省略<ol style="list-style-type: none"><li>c) インターネットドメイン名がライセンスのないギャンブルに関連する重大な犯罪の目的で使用されていること。</li></ol></li><li>4) 条件3は、重大な犯罪の目的で使用されるのを防ぐために、インターネットドメイン名へのアクセスを防ぐことが必要かつ適切であること。</li><li>5) 条件4は、<ol style="list-style-type: none"><li>a) ドメイン名停止命令が出されない限り、インターネットドメイン名へのアクセスは防止できないこと。</li><li>b) ドメイン名停止命令に従わない限り、インターネットドメイン名が使用されている (または使用される) 重大な犯罪の防止、制限、または阻止に対して重大な支障をきたすこと。</li></ol></li></ol>

(参考) ブロッキング実施状況 (イギリス) - 犯罪・警察法案

# 参考) 現在審議中の犯罪・警察法案は、無許可ギャンブルを含む重大犯罪に用いられるIPアドレスやドメイン名の停止を可能にする規定を盛り込んでいる (3/6)

## 犯罪・警察法案 (Crime and Policing Bill) 付則12

サブパート	出所	法律参照テキスト
停止命令の解除および変更	付則12 セクション92 7 (1) (2) (3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 裁判官は、申請に対する停止命令 (<i>suspension orders</i>) を解除または変更することができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 適切な担当官、または</li> <li>b) 命令の影響を受ける者。</li> </ol> </li> <li>2) 裁判官が非開示義務を課す内容を含む停止命令 (<i>suspension orders</i>) を解除する場合、命令を受けた者が引き続き非開示要件の対象となるよう命令することができる。</li> <li>3) 上記 (2) に基づく命令は、解除される命令に記載されていた非開示要件とは異なる時期を指定または記述することができる。</li> </ol>
停止命令の延長	付則12 セクション92 8 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 担当官は、指定期間の延長を裁判官に申請することができる。</li> <li>2) 「指定期間」とは、IPアドレスまたはインターネットドメイン名へのアクセスを防止する期間として停止命令に明記された期間である。</li> <li>3) 申請は、指定期間の終了前に行われなければならない。</li> <li>4) 裁判官は、重大な犯罪の目的でIPアドレスまたはインターネットドメイン名が使用されることを防止するために、アクセス防止を継続することが必要かつ適切である合理的な理由があると認めた場合には、申請を認めることができる。</li> <li>5) 申請が認められた場合、延長された指定期間は、当初の指定期間が終了する予定日から起算して12か月以内に終了しなければならない。</li> <li>6) 停止命令 (<i>suspension orders</i>) に不開示要件が含まれている場合、裁判官は、担当官の申請により、当該不開示要件が満了する期間を変更することができる。</li> <li>7) 指定期間は、複数回延長することができる。</li> </ol>
その他の規定	付則12 セクション92 10 (1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本附則に基づく適切な担当官による申請は、裁判官に通知することなく行うことができる。</li> </ol>

## 参考) 現在審議中の犯罪・警察法案は、無許可ギャンブルを含む重大犯罪に用いられるIPアドレスやドメイン名の停止を可能にする規定を盛り込んでいる (4/6)

### 犯罪・警察法案 (Crime and Policing Bill) 付則12

サブパート	出所	法律参照テキスト
通知および命令の送達	付則12 セクション92 11 (1) (2) (3) (4) (5)	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 本項は、以下に適用される。<ol style="list-style-type: none"><li>a) 本25附則に基づいて適切な担当官が行う申請に関する通知;</li><li>b) 本附則に基づく命令。</li></ol></li><li>2) 通知または命令は、裁判規則で認められている手段 (電子的手段を含む) により、当該人物に送達することができる(その人物がイギリス国内にいるか国外にいるかを問わない)</li><li>3) 通知または命令は、以下のいずれかの方法 (電子的またはその他の送達手段) により、イギリス国外の者に送達することができる。<ol style="list-style-type: none"><li>a) その人物のイギリス国内の主たる事務所に、送達する。またはイギリス内に事務所を有していない場合には、その人物が事業を行ったり活動を行うイギリス内の場所に送達すること。</li><li>b) その人物が、通知または命令と同種の文書の送達を受けるための住所をイギリス国内に指定しており、本人または代理人がその住所で受領すると明示している場合には、その住所に送達すること。</li><li>c) 第(4)項に従い、イギリス内の場所で、本人または代理人による閲覧が可能な状態にすることによって送達することができる。</li></ol></li><li>4) 通知または命令は、以下の場合に限り、上記(3) (c) に記載された方法でイギリス外の者に送達できる。<ol style="list-style-type: none"><li>a) (3) (a) または (b) に記載されているか否かにかかわらず、送達することが合理的に実行不可能であること。</li><li>b) 送達を行う者が、通知または命令の内容および閲覧可能なことを、送達対象者に知らせるために適切と判断される手段を講じたこと。</li></ol></li><li>5) 上記 (4) (b) に記載された措置は、通知または命令が閲覧可能になった後、合理的に可能な限り速やかに講じなければならない。</li></ol>

(参考) ブロッキング実施状況 (イギリス) - 犯罪・警察法案

# 参考) 現在審議中の犯罪・警察法案は、無許可ギャンブルを含む重大犯罪に用いられるIPアドレスやドメイン名の停止を可能にする規定を盛り込んでいる (5/6)

## 犯罪・警察法案 (Crime and Policing Bill) 付則12

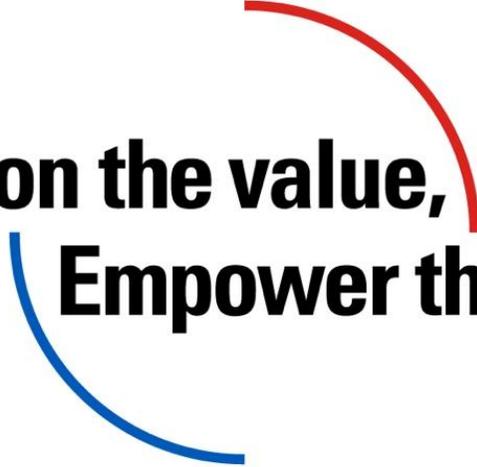
サブパート	出所	法的参照テキスト
<p>「適切な担当官」および「上級役員」            (“Appropriate officer” and “senior officer”)</p>	<p>付則12            セクション92            14 (1) (2)</p>	<p>1) 本付則において、「適切な担当官 (Appropriate officer) 」とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) イングランドおよびウェールズにおいては、               <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 警察官 (constable)</li> <li>ii. 国家犯罪対策庁 (National Crime Agency) の職員</li> <li>iii. 税関・歳入庁 (Revenue and Customs) の職員</li> <li>iv. 金融行動監視機構 (FCA) の職員</li> <li>v. 2005年ギャンブル法第303条に基づき賭博委員会により指名または任命された執行官</li> </ul> </li> <li>b) 北アイルランドにおいては、               <ul style="list-style-type: none"> <li>i. 警察官</li> <li>ii. 国家犯罪対策庁 (National Crime Agency) の職員</li> <li>iii. 税関・歳入庁 (Revenue and Customs) の職員</li> <li>iv. 金融行動監視機構 (FCA) の職員</li> </ul> </li> <li>c) スコットランドにおいては、地方検察官 (procurator fiscal)</li> </ul> <p>2) 本付則において、「上級職員 (senior officer) 」とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 警視 (superintendent) 以上の階級を有する警察官</li> <li>b) 国家犯罪対策庁の長官 (Director General) 、または本付則の目的のために長官により (一般的または個別に) 承認されたその他の国家犯罪対策庁の職員</li> <li>c) 少なくとも「上級職員 (senior officer) 」の等級にある税関・歳入庁の職員</li> <li>d) 少なくとも「部門長 (head of department) 」の等級にある金融行動監視機構の職員</li> <li>e) 少なくとも「ディレクター (director) 」の等級にある賭博委員会の職員</li> </ul>
<p>「IPアドレスプロバイダ」</p>	<p>付則12            セクション92            16</p>	<p>本付則において、「IPアドレスプロバイダ」とは、他の人物から再割り当ての目的でIPアドレスの割り当てを受けた者 (P) ** であり、そのIPアドレスをさらに他者に割り当ててをいう。</p>

(参考) ブロッキング実施状況 (イギリス) - 犯罪・警察法案

# 参考) 現在審議中の犯罪・警察法案は、無許可ギャンブルを含む重大犯罪に用いられる IPアドレスやドメイン名の停止を可能にする規定を盛り込んでいる (6/6)

## 犯罪・警察法案 (Crime and Policing Bill) 付則12

サブパート	出所	法律参照テキスト
「インターネットドメイン登録機関」 ("Internet domain registry")	付則12 セクション92 17 (1)(2)(3)(4)(5)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本付則において、「インターネットドメイン登録機関 ("internet domain registry") 」とは、以下の業務を行う者を指す。               <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 関連するインターネットドメイン名の登録簿を管理していること</li> <li>b) 登録簿に含まれるドメイン名を、インターネットを通じてIPアドレスやその他の情報に接続できるようにするシステムの一部を構成するコンピュータプログラムまたはサーバーを運用していること</li> </ol> </li> <li>2) 「関連するインターネットドメイン名の登録簿 ("Relevant register of internet domain names") 」とは、以下のいずれかのドメイン名を記録している登録簿を指す。               <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 同一のトップレベルドメインに属するセカンドレベルインターネットドメイン名</li> <li>b) 同一のセカンドレベルドメインに属するサードレベルインターネットドメイン名</li> </ol> </li> <li>3) 「セカンドレベルインターネットドメイン ("Second level internet domain") 」とは、ドメイン名の最後から2つの要素で示されるドメインを指す。</li> <li>4) 「サードレベルインターネットドメイン ("Third level internet domain") 」とは、ドメイン名の最後から3つの要素で示されるドメインを指す。</li> <li>5) 「トップレベルインターネットドメイン ("Top level internet domain") 」とは、ドメイン名の最後の要素で示されるドメインを指す。</li> </ol>
「インターネットドメイン登録機関の登録事業者」 ("Internet domain registry" and "registrar")	付則12 セクション92 18 (1)(2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本付則において「インターネットドメイン登録機関の登録事業者」とは、ドメイン名の登録に関して、エンドユーザーに代わって手続きを行うことを、その登録機関から認可された者を指す。</li> <li>2) 「エンドユーザー (end-user) 」とは、当該登録機関が管理する登録簿に記載されている、または記載されることを希望しているインターネットドメイン名の割り当てを受けた者、もしくは希望している者を指す。</li> </ol>
「犯罪」、「重大犯罪」など	付則12 セクション92 19(3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>3) 本付則において、「重大な犯罪」が無許可のギャンブルに関連しているとは、当該行為によって構成される、または構成される可能性のある犯罪のうちのいずれかが、2005年ギャンブル法第33条に基づく犯罪である場合をいう。</li> </ol>



**Envision the value,  
Empower the change**